

あいさつ

今尾省司

令和5年4月から、第15代岐阜県柔道協会会長に就任いたしました。重責を担い、身の引き締まる思いです。

「形」「乱取」「講義」「問答」

昨年9月に2022世界形選手権（ポーランド・クラクフ）に日本チームは投の形、極の形、講道館護身術の3種目に出場しました。選手はコロナ禍で十分な練習も出来ない、出入国の検査等の気疲れ、そんな状況でも高成績を残しました。世界のレベルは非常に高くなり日本との差を縮めているのを感じました。

選手の努力も無論、自身（監督）の自己研鑽をさらに努めなければと痛感しています。

U23の部門（投の形、固の形）の同時開催もあるが、若い選手や柔の形以外の女性選手も増えてきたように映りました。

岐阜県の形と私

岐阜県では、平成3年に岐阜メモリアルセンター長良川競技場内の武道館完成記念行事として全国でも早い取り組みで、高校生中学生を対象に県下形競技大会が開催されました。当時からの県の関係者の熱心な取り組みが実り、柔整全国柔道大会（投の形）優勝組の誕生、一般では世界チャンピオン3組（固の形、柔の形、極の形）の輩出に繋がりました。「形大国岐阜」を全国に示せる成績を残しています。

平成9年（第1回）全国形競技会（3種目（投の形、柔の形、古式の形））開催で、東海地区ではまだ予選が無く、岐阜県は投の形の指名を受け（取）今尾省司（受）清水（梶田）和憲 が出場したが結果は入賞どころか自分たちの無知を知る大会出場となりました。

私たちは地元の武道館、体育館の落成式などで形の演武をした程度で、形を深く勉強や研究したこともなく当然の結果ではあったが、悔しさと同時に形に対する新鮮な気持ちが残りました。

第3回目までは東海地区では予選が無く、第4回目大会から東海地区予選会が開催され再度「投の形」に挑戦する機会を得た。予選会に先立ち講道館形講習会が開かれ受講した。その内容は技の理合、正しい動作など、まさに目から鱗が落ちる話ばかりですべてに感心し、一心に聞き入りました。

その年、平成12年全国形競技会で優勝、平成13年講道館鏡開式での形演武の機会をいただきました。12月末に講道館へ形稽古に行き、醍醐敏郎先生と山本四郎先生に2日間に渡り技術、技の成り立ち、柔道講話をいただき、形・柔道の奥深さを学び、帰路の列車ではこの講話や技術を岐阜の皆にどう伝えるかの話ばかりで岐阜に帰っても興奮冷めやらぬ2人でした。

第5回大会から第10回大会までは投の形以外は隔年開催でしたので、固の形、次年は極の形に交互に挑戦しました。もちろん大会出場の喜びも然る事乍ら、地方大会前の講道館形講習会での講師の話や指導を受けるのが楽しみでした。

講習会で学んだ事を乱取り稽古で早く試したい、稽古仲間に伝えたい。前以上に乱取、形稽古が楽しくなり、柔道の取り組みに幅が出てきたのを感じました。柔道の楽しさ、奥深さを再発見出来るこれからの学びと稽古が楽しみでした。

形を順に学んで得た一つですが、正確な動作で大きな効果を得られる例として、「固の形」と「極の形」の中で「片羽絞」で制する動作の時、取の左手（固の形）・右手（極の形）の使い方で効果が異なる手法が、乱取にも効果的です。

数々の講義を受けることで、まさに嘉納治五郎師範が説かれた形と乱取の関係を、車の両輪、鳥の双翼に例えて一方に片寄ってはならないことを強調し、「柔道における形は文章における文法であり、乱取は作文であるから柔道も形を学ばなければ熟達はおぼつかない」を理解できるようになりました。

10年程前から「形王国岐阜」を目指して普及・強化に理解と支援が実を結び、全国大会優勝、世界チャンピオン（固の形、柔の形、極の形）を輩出するまでになりました。（この選手達は形のみならず各道場で指導も各自の乱取稽古にも励んでいます。）

形の普及には昇段審査の時の講話、各地域に足繫く通い形と乱取の魅力の講話と実技指導が必要です。若い世代、女性が魅力を感じ、楽しみながら柔道が続けることを見出す、これらはすべて指導者の質の向上と学びに係ってきます。柔道の修業は「形」「乱取」「講義」「問答」があります。形を研究することの意義と奥深さを体現し、乱取に活かして欲しいと思います。形の全国大会が開催されたことは私の成長に大きく影響しています。これからも自己研鑽に努め形・柔道の魅力を伝えて行きたいと自身を鼓舞しています。

以上講道館雑誌「柔道」に執筆しました。柔道の価値を高めていく活動を県協会員一丸となり取り組んでいきたいと思っています。

コロナ禍で柔道活動制限、柔道愛好者の減少など問題山積ですが、前会長からの組織改革の女性役員増加、普及委員会・ブランディング担当の SNS の活用、ホームページの充実を推し進め、若者、母親と子供への普及を進めています。

柔道を取り巻く老若男女問わず「楽しめる柔道・生涯柔道」を目標とし、運営に全力を尽くす所存です。各方面からのご意見、ご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

（岐阜県柔道協会会長）